

[9] 西都市小体連のあゆみ

I 年間事業

実施日	曜	事業名	主な内容	会場
4月28日	木	第1回 体育主任会	役員選出 主題研究の推進	妻南小学校
5月31日	火	第2回 体育主任会	主題研究の推進 水泳大会の概要確認	妻南小学校
7月4日	月	第3回 体育主任会	主題研究の推進 水泳大会の運営確認	妻南小学校
7月25日	月	水泳大会前々日準備	水泳大会会場設営 選手名簿作成	妻南小学校
7月27日	木	水泳大会	水泳大会運営 片付け	妻南小学校
8月24日	水	第4回 体育主任会	水泳大会反省 陸上記録会概要確認	三納小中学校
10月4日	火	第5回 体育主任会	主題研究の推進 陸上記録会運営確認	妻南小学校
10月27日	木	陸上記録会前日準備	陸上記録会会場設営 運営確認	西都市陸上競技場
10月28日	金	陸上記録会	陸上記録会運営 片付け	西都市陸上競技場
12月5日	月	第6回 体育主任会	研究授業 授業研究 研究のまとめ	妻南小学校
2月6日	月	第7回 体育主任会	次年度への引継確認	妻南小学校

II 事業部のあゆみ

1 水泳大会

- (1) 目的 西都市内の小学生を対象とした「水泳大会」を実施することにより、児童の水泳の技能を高めるとともに児童相互の親睦を図り、学校体育の振興に寄与する。
- (2) 日時 平成28年7月27日(水) 8:30～12:00(小雨決行)
- (3) 会場 西都市立妻南小学校 屋外プール
- (4) 参加者 市内の小学校に在籍する5・6年生の児童(保護者の承諾を受け健康診断で異常のない児童)
- (5) 競技種目 クロール(25m、50m)・平泳ぎ(25m、50m)・100mリレー
- (6) 日程

時刻	内容	備考
8:00	各学校 8:00 までに児童の出席状況を把握し、体育館ステージ前にいる担当へ報告する。	<ul style="list-style-type: none"> ・集合場所体育館、確認後更衣! ・体育館壁面に学校名の紙を貼る。 ・欠席者、選手変更、オーダーの確認 ・役員顔合わせ、打ち合わせをする。
8:10 8:15	<ul style="list-style-type: none"> ○ 着替え→プールで体操・シャワー・25m泳ぐ ○ 児童管理以外の係打合せ(各役員)→本部席前 	
8:20	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水慣れ後に整列 8:25 までには集合整列できるようにする。 	・プールサイドに移動する。
8:30	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開会式 <ol style="list-style-type: none"> 1 一同礼 2 大会会長のあいさつ 3 教育長あいさつ 4 競技上の注意 5 選手宣誓 6 一同礼 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 式が始まる5分前までに児童の整列を完了させておく。 ・ 式の間は水泳帽・ゴーグル・タオル・体育服等は身につけさせないこと。 ※ 体育着(上)を脱いだ状態で待機
8:40 9:00	<ul style="list-style-type: none"> ○ 準備運動 ○ 競技 <ol style="list-style-type: none"> ① 25m クロール ② 25m 平泳ぎ ※ 25m 競技の記録放送・熱中症対策入水 ③ 50m クロール ④ 50m 平泳ぎ ※ 50m 競技の記録放送と小プールでのリレー選手の水慣れ ⑤ 100m リレー 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種目とも次の順で行う。 ① 5年女子 ② 5年男子 ③ 6年女子 ④ 6年男子
10:35 11:00 11:15 11:20		

11:30	○ 閉会式 進行 1 一同礼 2 新記録表彰 3 講評	
11:40	4 一同礼	

2 陸上記録会

- (1) 目的 西都市内の小学生を対象とした「陸上記録会」を実施することにより、各種の陸上運動の能力を高めるとともに、学校の枠を超えた児童の親睦を図る。
- (2) 日時 平成 28 年 10 月 28 日 (金) 9:30 ~ 15:30 (会場集合は 9:00 まで)
- (3) 会場 西都原運動公園陸上競技場
- (4) 参加者 西都市内の小学校に在学する 6 年生の児童
※ 小体連の承認がある場合はリレーの補充として 5 年生の参加を認める。
ただし、個人種目については記録証のみを授与する。
- (5) 競技種目 走 (100m,200m,800m,1000m,80m ハードル,400m リレー)
走り幅跳び・走り高跳び・ソフトボール投げ
- (6) 日程

時刻	内容				備考			
9:00~ 9:15	※ 9時まではリレーの練習をしておく。(白線を消さないように注意) ○ 係打ち合わせ・・・決勝審判は陸連とそれ以外は係ごとで行う。 ○ 選手名簿で出欠の確認				・引率職員はリレーのコースで指導 ・大会役員は本部席前に集合。			
9:15~ 9:25	○ 児童の移動・集合・整列(事業部長) ・遅くとも 9:25 には集合整列できるよう、児童管理は児童に指示する。理事長は、入場の仕方を全体指導する。				・グラウンド北側トラックに移動し、迅速に整列する。			
9:30 9:55	○ 開会式 ① 選手入場 ② 開式のことば (理事長) ③ 国旗・市旗・小体連旗掲揚 (妻北小児童) ④ 大会会長あいさつ (会長) ⑤ 来賓あいさつ (教育長) ⑥ 競技上の注意 (事業部長) ⑦ 選手宣誓 (妻北小児童) ⑧ ラジオ体操 (三納小児童)				・全学校帽子(白)を着用して式に臨む。 ・⑦⑧のマイク移動は事業部長が行う。 ・ラジオ体操では、8番目の運動でイチ・ニ・・・と元気よく声を出す。			
10:05	○ 競技							
	トラック種目				フィールド種目			
	順	部	競技種目		順	部	競技種目	
	1	特選	男子	200m 走	1	特選	男子	走り幅跳び
	2	一般	女子	100m 走				走り高跳び
	3	特選	男子	1000m 走				ソフトボール投げ
	4	特選	女子	800m 走	2	特選	女子	走り幅跳び
	5	特選	女子	200m走				走り高跳び
	6	一般	男子	100m走				ソフトボール投げ
13:15 14:00	昼食(12:00~12:45)							
15:00	7	表現	子ども臼太鼓踊り (天候によっては中止になる場合があります)					
	8	特選	男女	80mハードル				
	9	特選	女子	400mリレー				
	10	特選	男子	400mリレー				
15:10 15:30	○ 閉会式 (放送・・・閉会式のはじまり→一同礼) ① 新記録表彰 (会長) ② 校長会長あいさつ (代表校長) ③ 国旗・市旗・小体連旗降納 (妻北小児童) ④ 閉式のことば (理事長)				・全学校帽子(白)を着用して式に臨む。 ・①は新記録が出た場合のみ行う。 ※リレー失格の場合は各審判員から本部(理事長→会長→放送)へ連絡し順位等の判断をする。			

Ⅲ 研究部のあゆみ

1 研究主題並びに副題

研究主題

運動の楽しさや喜びを味わい、進んで運動に取り組む体育学習を目指して

副題

器械・器具を使つての運動の実践を通して

西都市小体連では、平成22年度から3カ年にわたって、西都市で新たに年間指導計画に加えられたソフトバレーボールの研究に取り組んできた。その成果としては、単元構成の工夫により、技能の向上の欲求と仲間との協力欲求、競争欲求を満たすことができたこと、児童の実態に応じた易しいゲームを適宜取り入れたことにより、自発的な活動を促すことにつながったことなどが挙げられる。課題としては、様々な単元で楽しさや喜びを感じさせることが運動への親しみにつながることで、他の単元においても運動の楽しさや喜びを味わわせる必要があること、ゲーム・ボール運動の実践例を西都市内の各校の先生方に紹介していく必要があることが挙がってきた。そこで平成25年度は、西都市小体連を中核として、西都市内の先生方にゲーム・ボール運動の優れた実践等を体育実技研修等で紹介し、授業力向上及び授業での積極的活用を促すことで授業の充実を図ることができた。平成26年度は、西都市の教師へのアンケートの結果、課題として挙げられた「器械運動系」領域について、優れた実践等を各学校の体育実技研修等で紹介した。さらに平成27年度は、研究授業を通して実践的に「器械運動系」領域について研究主題に迫るとともに、西都市内の先生方に実践等を紹介し実際の体育の授業に役立ててもらふことにした。

本年度は、昨年度に引き続き「器械運動系」領域の学習について、各校での実践を基に報告会を行い、研究を深めることとした。

2 研究の仮説

「器械運動系」領域の学習について、「できる」ようになるための学習形態や場の工夫、ICTの活用を図ることで、児童が運動の楽しさや喜びを味わうことができ、進んで運動に取り組む児童を育成することができるであろう。

3 研究の内容

- (1) 「器械運動系」領域の授業における学習形態の工夫
- (2) 「器械運動系」領域の授業における場の工夫
- (3) 「器械運動系」領域の授業におけるICT活用の在り方

4 研究の実際

本年度は、器械運動ができるようになるために必要な手立てを考え、その実践を報告し合うことで研究を深めた。手立ては、主に以下の3つに類型化された。

- (1) 「器械運動系」領域の授業における学習形態の工夫

① ペア学習

ペア学習で、交互に技を行い、アドバイスをを行うとともに、技の状態と練習による変化を発表し合う実践である。この学習形態で行ったことで、細かな動きができるようになった児童が増えたという成果が得られた。



【ペアで動きを確認しながら運動】



【友達のアドバイスを聞く様子】

② シンクロ跳び箱

小規模校における第2学年から第6学年合同体育において行われた、シンクロ跳び箱の実践である。発達の段階や技能の差が少ない児童同士でグループ構成を行った。動きをシンクロさせるために、互いの演技を見せ合ったり、練り直す時間を毎時間設定したりしたことで、児童の演技に変化が見られた。また、場の工夫を行ったことで、演技の構成にも広がりをもたせることができた。



【シンクロ跳び箱の様子】

(2) 「器械運動系」領域の授業における場の工夫

① 本時の主運動につながるウォーミングアップ・サーキットランニング

鉄棒運動に向けて、体をほぐしたり、鉄棒を握る感覚を養うために、築山や遊具を使った簡単なサーキットランニングを行う実践である。導入の段階から、鉄棒や遊具に触れる機会をつくることで、児童が恐怖心をもたずに主運動の練習に励むことができた。

また、〇〇っ子ウォーミングアップを毎時間行う実践も報告された。けが防止のために、運動に使う足首、手首、腕、膝を特に意識しながら準備運動を行った。また、新体力テストの結果を踏まえながら、毎年ウォーミングアップの中に入れる運動を更新し、自校の課題となっている種目の改善につなげているそうである。

② 課題に応じた跳び箱の設置

様々な段数の跳び箱を用意することで、つまずきに応じた学習ができるようにした実践である。開脚跳びができない児童は4段の跳び箱に集め、個別指導を行う。また、着手や支持に課題のある児童は1段の跳び箱で練習させた。5段以上跳んでいる児童でも、足の運びに課題がある児童は5段の小さい跳び箱で練習させた。様々な跳び箱を用意したことで、助走、踏切、着手、支持などの技能を個別に指導することができた。



【ロイター板を活用した坂道コース】

③ 課題に応じたマットの設置

坂道コース、みぞコース等を作り、それぞれの課題に応じたマットの設置を行った実践である。回転に勢いがつかない児童は、坂道コースを選択させる。前転や後転でまっすぐに進めない児童には、みぞコースを選択させる。このような場の工夫を行ったことで、回転する感覚をつかみ、技ができるようになった児童が増えた。

④ 言葉による動きのイメージ化

言葉により、前転のポイントを段階的に理解できるようにさせる実践である。「かえるさん→手をパン→頭キゅッ→ごろんパツ」という言葉を言わせながら練習したことで、動きのイメージ化を図ることができた。

(3) 「器械運動系」領域の授業におけるICT活用の在り方

① タブレット端末を活用した練習

タブレット端末で技の動画を見て、ポイントを確認した後に、自分の技を録画し比較する実践である。自分の課題が明確になり、技能に合った場を選択することができた。

② 遅延再生アプリの活用

遅延再生アプリ「はなまるフォーム」を活用した実践である。このアプリを活用することで、自身のフォームを細かく確認することができた。模範となる動きと自分の動きを重ね合わせて比較することもできるそうである。



【タブレット端末での撮影の様子】

5 研究の成果と課題

- 「器械運動系」領域の授業において、「できる」ようになるための学習形態や場の工夫、ICTの活用を図ったことで、運動の楽しさや喜びを味わい、進んで運動に取り組む児童が増えた。
- 西都市独自の「ウォーミングアップ」をつくる等、さらに共通実践できるものを考えていく。